

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	1 「何度も訪れたいくなるあきた」の創出			
施策の方向性	① 自立した稼ぐ観光エリアの形成			
事業名	観光人材確保支援事業	事業年度	R5 R7	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	観光戦略課	
チーム名	企画チーム			

1 事業実施の背景及び目的

宿泊業をはじめとした観光業においては、低い賃金水準や不規則な労働環境などを背景とした人材不足が深刻となっている。このため、観光業に必要な人材を確保することを目的に、関係団体と連携しながら、経営者及び女性従業員向けの意識啓発等を促進するセミナーを開催する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	観光人材確保支援事業	職場環境の改善などをテーマとした経営者向けの意識啓発セミナーのほか、女性従業員を対象とした就業意欲の向上などを図るセミナーを開催する。	4,513		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			4,513	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			4,513	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	セミナーへの参加者数(経営者向け)(人)【業績指標】									
指標式	同上									
出典	観光戦略課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								60	60	60
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	宿泊・飲食業における離職率(%)【成果指標】									
指標式	一般労働者(パート含む)の産業別の離職率									
出典	厚生労働省「雇用動向調査」									
把握時期	翌年度8月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								27.0	26.0	25.0
実績b							28.6			
b/a								200.0%	200.0%	200.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	1 「何度でも訪れたいくなるあきた」の創出			
施策の方向性	② ターゲットの的確な把握と効果的な誘客プロモーションの展開			
事業名	冬こそ秋田だ！秋田の冬旅推進事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	誘客推進課	
チーム名	調整・国内誘客チーム			

1 事業実施の背景及び目的

本県観光の大きな課題である冬季観光の振興を図るため、季節による繁閑差解消に向けた取組を実施する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	秋田冬旅キャンペーン(仮称)実施事業	宿泊事業者や交通事業者等と連携して、スノーアクティビティや冬のグルメなど、雪国秋田ならではの魅力をPRするキャンペーンを実施する。	33,919		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			33,919	0	0
左の説明					
国庫補助金			0		
県債					
その他					
一般財源			33,919	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	当該年度12月～2月の延べ宿泊者数(人)【成果指標】									
指標式	延べ宿泊者数									
出典	観光庁「宿泊旅行統計調査」									
把握時期	翌年度7月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								680,000		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略				
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造				
施策の方向性	① 消費ニーズを捉えたオリジナル商品の開発と秋田の「食」のブランド化				
事業名	あきたの食アップサイクルモデル推進事業	事業年度	R5	年度～	
			R6	年度	
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課		
チーム名	まるごと売込みチーム				

1 事業実施の背景及び目的

食品製造過程で生じる副産物を活用したヘルスケア商品の開発や販路拡大、清酒製造の工程で発生する酒粕等の副産物を活用した酒づくりの実証などにより、県産食品のイメージアップと付加価値向上による競争力強化を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	資源循環型酒造りモデル 実証事業	清酒造りの過程で発生する酒粕等を原料とした肥料、堆肥による酒米の生産実証と試験醸造を行い、地域の資源循環により醸造された清酒のブランド化を図る。	4,513		
2	食品産業副産物利活用加 速化事業	米糠、酒粕、大豆種皮など、食品製造過程で生ずる未利用・低利用資源(副産物)を活用した秋田オリジナルの保健機能食品(素材)の開発や販路開拓等を支援する。	4,988		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			左の説明		
国庫補助金	デジタル田園都市国家構想交付金		9,501	0	0
県債			4,322		
その他	諸収入		1		
一般財源			5,178	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	資源循環型酒造りの実証、試験販売の実施件数(件)【業績指標】									
指標式	酒粕を利用して製造した肥料、堆肥で生産した酒米で醸造した清酒の試験販売の実施件数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								2	2	
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	

【指標Ⅱ】

指標名	食品残渣からの高付加価値素材件数(件)【成果指標】									
指標式	総合食品研究センターが技術支援して開発した素材件数									
出典	総合食品研究センター調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								2	—	
実績b										
b/a								0.0%		

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価)

(評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造			
施策の方向性	② 食品製造業の振興			
事業名	秋田の食をリードする食品事業者支援事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課	
チーム名	食品工業チーム			

1 事業実施の背景及び目的

売上げ規模20億円以上の事業者を増やすことを主眼とし、経営規模の拡大や生産性向上による賃金水準の向上及び企業価値の向上に資する取組等を支援し、食品産業を牽引するリーディングカンパニーを創出し、事業者間連携を促進することで食品製造業における事業基盤と競争力強化を図り、賃金水準の向上に寄与することを目的とする。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	食品事業者連携促進事業	リーディングカンパニーをはじめとした地域に密着した食品事業者の事業拡大に向けた取組や生産性向上の取組を支援するため、伴走コーディネーターを配置する。	5,340		
2	食のリーディングカンパニー育成支援事業	リーディングカンパニーを目指す食品事業者に対して、経営規模の拡大や生産性向上による賃金水準の向上等に資する取組に要する経費を助成する。	32,408		
3	食品事業者クリエイティブ支援事業	食品製造事業者を中心としたグループが、連携や協業による取組を支援するため、異業種を含む交流会を開催する。	570		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			38,318	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			38,318	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	生産性向上や事業規模拡大に繋がる事業者間連携成約数(件)【業績指標】									
指標式	通年の連携促進、リーディングカンパニー育成業務及び交流会で成約した件数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月末									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								2		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造			
施策の方向性	③ 多様な流通チャネルを活用した県産食品の販売の促進			
事業名	アキタノ”食”まるごと売込み事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課	
チーム名	まるごと売込みチーム			

1 事業実施の背景及び目的

本県食品産業は小規模事業者が多くを占めており、これまで販路拡大等の取組を実施しているものの、大消費地である首都圏等の要望に対応できない状況がある。このため、県内食品事業者における商品開発力や営業力、ニーズ対応力などの競争力を強化するとともに、首都圏等の県外市場への参入拡大を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	業界団体と連携した首都圏等販路開拓事業	スーパーマーケット等中小規模の食品小売業に精通する業界団体との連携により、食品事業者の首都圏等大消費地に向けた販路開拓を支援する。	12,188		
2	県産食品マッチング拠点の開設	食品産業の加工・流通・販売を総合的にマネジメントできる専門知識・経験を有する人材を雇用し、多様なニーズに対応するマッチングコーディネートを実施する。	4,987		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			17,175	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他 諸収入			18		
一般財源			17,157	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	首都圏企業とのマッチングによる成約件数(件)【成果指標】									
指標式	中食・外食企業等との成約件数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月末									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								163		
実績b							155			
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造			
施策の方向性	④ 秋田の「食」の魅力の発信と誘客への活用			
事業名	旨し国Akita誘客促進事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課	
チーム名	調整・食品振興チーム			

1 事業実施の背景及び目的

食の観光資源化において、一定の成果を上げてきた「あきた発酵ツーリズム」の取組を更に発展させるため、「あきたカモンドコロ」の魅力アップを図るとともに、他の観光コンテンツとも連携し、秋田の食を活用した観光周遊等を促進する。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	食の周遊化促進事業	有識者による食の周遊化促進に係る意見交換、本県の 麺コンテンツを活用した観光PR、「あきた発酵ツーリズム」 の推進拠点となる施設の立ち上げ支援を実施する。	28,384		
2	食と観光の情報発信事業	あきた発酵ツーリズムウェブサイト「本日あきた発酵中。」 のコンテンツを強化する。	1,721		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	30,105	0	0
国庫補助金	地域経済循環創造事業交付金		12,500		
県債					
その他					
一般財源			17,605	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	食のあきた推進課が運用するSNSの登録者数・フォロワー数の合計値(人)【成果指標】									
指標式	Facebookフォロワー数+Instagramフォロワー数+YouTube登録者数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3,800		
実績b							3,482			
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	2 「美酒・美食のあきた」の創造			
施策の方向性	④ 秋田の「食」の魅力の発信と誘客への活用			
事業名	絶品AKITAプロモーション事業	事業年度	R5 R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	食のあきた推進課	
チーム名	まるごと売込みチーム			

1 事業実施の背景及び目的

首都圏の大消費地において、秋田で育まれた食材の魅力と奥深さを体感してもらうことで、県産食材の認知度向上や需要拡大を図るとともに、冬期の観光誘客に結びつける。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	絶品AKITA体感事業	秋田の選りすぐりの食材や郷土料理を県産酒と共に味わうイベント「絶品AKITAグルメフェア」を首都圏のホテルにおいて実施する。	18,641		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	18,641	0	0
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			18,641	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	絶品AKITA体感事業来場者数(人)【業績指標】									
指標式	首都圏のホテル等で実施する絶品AKITAグルメフェア来場者数									
出典	食のあきた推進課調べ									
把握時期	当該年度3月末									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								500		
実績b										
b/a								0.0%		

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	3 文化芸術の力による魅力ある地域の創生			
施策の方向性	① あきた芸術劇場を核とした文化芸術の発信とにぎわいづくり			
事業名	あきた芸術劇場を活用した地域のにぎわい創出事業	事業年度	R5 R7	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	文化振興課	
チーム名	調整・文化施設活用チーム			

1 事業実施の背景及び目的

あきた芸術劇場ミルハスにおいて、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供することにより、県内における文化芸術の振興と地域のにぎわい創出を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	藝大フィルハーモニア管 弦楽団公演事業	ミルハス開館1周年記念公演を開催し、質の高い文化芸術の鑑賞機会を提供することにより、県内における文化芸術の振興を図る。	16,832		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			16,832	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他			13,319		
秋田市負担金、(一財)地域創造助成金等					
一般財源			3,513	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	県市主催公演入場者数(人)【業績指標】									
指標式	公演を鑑賞した人数									
出典	文化振興課調べ									
把握時期	当該年度9月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								1,305	1,404	1,505
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	① ライフステージに応じた多様なスポーツ活動の促進			
事業名	ICTを活用したスポーツ活動推進事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	競技・生涯スポーツチーム			

1 事業実施の背景及び目的

県民のスポーツ実施率は、新型コロナウイルス感染症の影響による健康意識の高まりもあり令和2年は58.5%に向上したものの、令和4年は51.1%に低下するなど最近では伸び悩んでいることから、ICTを活用し、「いつでも、どこでも、気軽に」スポーツに親しめる機会を創出することで、県民のスポーツ実施率の向上を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	指導者派遣等によるスポーツ実施率の向上事業	スポーツ科学センターが認定した指導者等を企業やスポーツ実施率の低い市町村に派遣するほか、親子運動教室を開催する。	781		
2	いつでも、どこでも、気軽にスポーツ配信事業	スポーツ科学センターで実施する運動教室等をウェブサイトで配信する。	3,518		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			4,299	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他 諸収入			10		
一般財源			4,289	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	働く世代及び子育て世代の週1回以上のスポーツ実施率(%)【成果指標】									
指標式	アンケートを実施した県内の20～59歳の男女約2,000人のうち、「スポーツを週1日以上実施した」と回答した割合									
出典	秋田県スポーツ推進委員協議会「全県体力テスト・スポーツ実態調査」									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a							57.0	58.0	59.0	60.0
実績b		42.3	42.8	45.8	54.2	54.1	46.8			
b/a							82.1%	0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大			
事業名	スポーツツーリズム推進事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	調整・スポーツ活性化チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県外スポーツチーム等の合宿誘致や、秋田の魅力を発信するスポーツ大会・イベントに対する支援などにより、スポーツツーリズムを推進することで、交流人口の拡大と活力ある地域づくりの促進を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	スポーツ合宿推進事業	県内で実施するスポーツ合宿、交流試合等を支援することで、スポーツを通じた交流推進、地域の活性化やスポーツ人口のすそ野拡大に資する。	1,500		
2	スポーツ大会・イベント支援事業	スポーツ大会、スポーツイベントの開催を支援することで、スポーツを通じた交流推進を図り、地域の活性化やスポーツ人口のすそ野拡大に資する。	8,000		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳		左の説明	9,500	0	0
国庫補助金					
県債					
その他		寄付金	4,300		
一般財源			5,200	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	スポーツ大会・イベント支援事業補助件数(件)【業績指標】									
指標式	同上									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								10	10	10
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現			
施策の方向性	② スポーツを通じた地域づくりと交流人口・関係人口の拡大			
事業名	スポーツを活用した秋田魅力発信事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課	
チーム名	調整・スポーツ活性化チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県内トップスポーツチームや秋田県スポーツ大使等を活用して全国に情報発信を行い、県外からの誘客を促進することにより交流人口の拡大を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	スポーツチームを活用した秋田魅力発信事業	アウェイ会場及びアウェイチームのSNSで秋田県のPRを行い、秋田県の露出度、認知度を向上させ、アウェイツーリズムを推進する。	1,408		
2	スポーツ大使を活用した秋田魅力発信事業	秋田県スポーツ大使と連携し、両選手が所属する球団のファン感謝デーを活用し、広く秋田の情報発信を行うことにより交流人口の拡大を図る。	3,142		
3	ホームページ「秋田スポーツ情報ステーション」運用による情報発信事業	県内のスポーツに関する情報提供を行うウェブサイトを通じて、県内のスポーツコンテンツやスポーツ合宿に適した施設の紹介、合宿補助金等の情報を広く発信する。	72		
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			4,622	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			4,622	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	東京ヤクルトスワローズファン感謝デーにおける本県ブースの物販売上金額(円)【業績指標】									
指標式	同上									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								790,000	800,000	810,000
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	アウェイ会場来場者数(累積)(人)【業績指標】									
指標式	同上									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								15,000	15,750	16,500
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略				
目指す姿	4 活気あふれる「スポーツ立県あきた」の実現				
施策の方向性	③ 全国・世界で活躍できるアスリートの発掘と育成・強化				
事業名	スポーツのすそ野拡大事業	事業年度	R5	年度～	年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	スポーツ振興課		
チーム名	競技・生涯スポーツチーム				

1 事業実施の背景及び目的

少子化による児童・生徒の運動機会の減少が競技人口にも影響していることから、将来、指導者としてジュニア世代を育成する「循環型の強化システム」の確立に向けた取組を進めるとともに、小中学生が身近な場所で様々な競技に触れる機会を創出すること等により、県内スポーツ人口のすそ野拡大を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	アスリートのキャリア支援事業	アスリートと企業等とのマッチング、雇用企業への奨励金支給及び企業が負担する競技活動経費への支援により、本県競技力の向上、スポーツの普及・振興を図る。	23,533		
2	来て、見て、やって、スポーツ体験事業	測定会による競技適性判定を行うほか、総合型地域スポーツクラブによる体験教室を開催し、小中学生がスポーツに取り組むきっかけを作る。	4,205		
3	女性アスリート支援事業	女性アスリート特有の課題への対処方法を改善し、女子中高生が競技を継続しやすい環境をつくる。	2,886		
4	スポーツの推進に向けた体制整備事業	県スポーツ協会に委託し、県民のスポーツ活動を推進するほか、県広報を活用して、県民のスポーツ活動への関心を高める。	20,796		
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			51,420	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			51,420	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	トップアスリート競技活動サポート補助金交付者数(社)【業績指標】									
指標式	トップアスリートの競技活動経費を負担する補助対象企業数(マッチングの翌年度から5年間補助)									
出典	スポーツ振興課調べ									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								5	5	6
実績b		1	6	11	13	11	9			
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名	高等学校女子の運動部活動加入率(%)【成果指標】									
指標式	全運動部員数(女子)/全生徒数(女子)×100									
出典	県教育庁「学校体育調査」									
把握時期	当該年度3月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a			37.0	38.0	39.0	40.0	37.8	37.9	38.0	38.1
実績b		35.7	35.9	36.1	-	37.7	38.1			
b/a			97.0%	95.0%		94.3%	100.8%	0.0%	0.0%	0.0%

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度:令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築			
施策の方向性	① 幹線鉄道の整備の促進とフェリー航路の維持・拡充			
事業名	JRローカル線活性化促進事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	交通政策課	
チーム名	調整・広域交通チーム			

1 事業実施の背景及び目的

県内のJRローカル線のうち、厳しい経営状況にある6路線の維持・活性化を図る必要があるため、沿線市やJR東日本、隣県等との連携・調整を図るとともに、沿線市及び地域の関係者による利用促進に向けた取組を支援することを目的に、連絡調整会議及び研究会の開催等を行う。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	JRローカル線活性化連絡調整会議の開催	対象6路線の沿線市町やJR秋田支社・盛岡支社等を参集し、情報や課題を共有するとともに、取組の方向性等について協議を行う。	303		
2	JRローカル線活性化研究会の開催	花輪線及び北上線等の沿線市及び関係者が行う利用促進等に向けた取組をブラッシュアップするため、専門家を招いた研究会を開催する。	1,019		
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			1,322	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			1,322	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	県内沿線自治体の利用促進取組件数(件)【業績指標】									
指標式	花輪線、北上線の沿線自治体による新規取組件数									
出典	交通政策課調べ									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								3	3	3
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--

事業評価調査(目的設定、中間評価、事後評価) (評価年度: 令和4年度)

政策	3 観光・交流戦略			
目指す姿	5 国内外との交流と住民の暮らしを支える交通ネットワークの構築			
施策の方向性	② 航空路線の維持・拡充			
事業名	地域主体による大館能代空港活性化支援事業	事業年度	R5	年度～ 年度
部局名	観光文化スポーツ部	課室名	交通政策課	
チーム名	調整・広域交通チーム			

1 事業実施の背景及び目的

大館能代空港の東京羽田線三往復運航の定着に向けて、コロナ禍においても民間主導で利用者を増加させている他空港のノウハウを取り入れながら、地域が一体となって持続的に利用促進に取り組む体制の構築を図る。

2 事業概要及び財源

(単位:千円)

	事業内訳	概要	令和5年度 予算額	前年度 決算(見込)額	最終年度 決算(見込)額
1	地域主体による大館能代 空港活性化支援事業	大館能代空港利用促進協議会に専門的な知見や経験を有するアドバイザーを配置し、指導・助言を得ながら、持続的かつ効果的な利用促進に向けて取り組む。	1,800		
2					
3					
4					
5					
その他合計 (件)					
財源内訳			1,800	0	0
左の説明					
国庫補助金					
県債					
その他					
一般財源			1,800	0	0

3 事業の効果を把握するための手法及び効果の見込み

【指標Ⅰ】

指標名	大館能代空港東京羽田線利用者数(人)【成果指標】									
指標式	大館能代空港の東京羽田線の利用者数									
出典	大館能代空港利用状況(大館能代空港管理事務所調べ)									
把握時期	翌年度4月									
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a								226,000	233,000	240,000
実績b										
b/a								0.0%	0.0%	0.0%

【指標Ⅱ】

指標名										
指標式										
出典										
把握時期										
年度	28年度	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標a										
実績b										
b/a										

◎指標を設定することができない場合の効果の把握方法

①指標を設定することができない理由

--

②見込まれる効果及び具体的な把握方法(データの出典含む)

--